

学校通信



矢巾町立矢巾北中学校

わだち

『緑風北魂』 友愛・躍動・創造

2026. 01. 19(月)

No. 45

〒028-3622
矢巾町大字上矢次 7-115
TEL : 019-697-1921
FAX : 019-697-7526
(文責: 藤澤 崇)

(今回は写真が少ないのでモノクロにしました。ご了承下さい。)

3学期に向けて～それぞれの決意(けいじ)～

《1学年代表》渡辺 桃生

1年の最後の学期が始まりました。2学期ではメリハリのある日常生活を送るため「8:15着席点検」や「授業前後挨拶態度点検」を行いました。その点検で、規則正しい生活を送ることができたり、授業に対する態度を改善できたり、と、様々な点で成長することができました。



3学期の1学年の目標は、先輩になる自覚を持つことです。1・2学期の反省では「日常生活がだらしない」「提出物などをしっかり出せていな」という意見が出ました。そこで、3分前着席・3分前学習の点検や提出物状況点検、整列指導などを強化し、「先輩になる」という自覚をもって、今の2・3年生のような姿を目指していきたいです。

後期1学年K-ガソは「桜梅桃李」です。一人ひとりが次の段階に進み成長し、個性あふれる自分らしい大きな花を咲かせられるように、精進していきたいです。

《2学年代表》立花 さくら

2学期は、学年として目標に向かう気持ちがばらつき、一つになりきれなかったと感じています。日々、リーダーと周りの間に温度差が生まれ、動きが揃わない場面もありました。3学期はその課題を乗り越え、学年全体で同じ方向を向き進んでいきたいです。そのために、周りを考えて行動する意識が大切です。誰かに任せのではなく、一人ひとりが自分にできることを考え、支え合うことで学年の雰囲気は変わります。普段の生活では、挨拶や返事、時間やルールなど、当たり前のことを当たり前にできる学年を目指します。行事では、意見の違いを大切に、相手の考えを受けとめ、全員が中心となって準備を進めることができます。



私たちは、もうすぐ最高学年として全校を引っ張っていく立場になります。これからも誰か一人の行動が学年全体の印象になることを忘れず、生活していきたいと思います。

《3学年代表》丹内 葵唯

冬休みは、私立高校の面接練習が始まり、受験一色の冬休みとなりました。自分の夢や目標に向かってこれまでとは違ったお正月を迎えるました。自分に合う勉強方法を探し、時間いっぱい学習に取り組みました。友達とわからない部分を教え合ったり、冬期講習などを受けたりした人も多くいたと思います。始業式前に受験に行った仲間もいます。1月下旬にかけ、ほとんどの人は私立高校の受験があり、いよいよ進路を決める時となりました。3月4日・5日の県立高校受検本番まで残り50日。受検を前に、ストレスを感じる日々が続くかもしれません、「受検は団体戦」を支えに、仲間と共に全員で合格できるように頑張ります。



このメンバーと生活できるのも3学期で最後となります。最後の授業の卒業式では、3年間積み上げてきた合唱を、3年生全員で歌いきり、後輩の皆さんにバトンをつなぎます。日常生活では、関わってくださる全ての方への感謝を忘れずに、当たり前のことを当たり前にできるようにしていきます。

《生徒会代表》松田 ゆず季

3学期は一番短い学期ですが卒業式など大事な行事を控えており、1年間の集大成を作っていく学期でもあります。



冬休み中、1・2年生のリーダーたちで4日間のリーダー研修会に参加しました。研修会の最終日は、滝沢二中リーダーの皆さんと黒石野中合唱団の皆さんと一緒に研修会に参加し、学びを深めました。研修会では、リーダーとしてどうあるべきか、リーダーとしての在り方について考えを交流したり、合唱練習を通じて自分の気持ちの伝え方について学んだりしました。研修で学んだことや成長したことをこれから始まる3学期に生かしていきたいです。

3学期には、北翔祭・卒業式があります。代替わりをして初めて大きな行事となります。2学期の課題を克服し、自分たちの基準を高め、今の限界を超えて、全校の気持ちを一つにし、練習の中で大きく成長できるようにしていきたいと思います。そして、これまで学校を引っ張って下さった3年生の先輩方へ感謝の気持ちが伝わるようなよい行事を作っていくと考えています。

最後に、第31期生徒会スローガン「翠玉」に込められた想い。全校生徒がエメラルドのように輝き、希望と思いやりに溢れるような3学期にしていきたいと思います。

それぞれの「といくのつぼ」～各部などの大会結果・表彰など～

◎第33回岩手県中学校バドミントンダブルス大会(1/12(土))

【男子】ベスト16(3回戦) 清藤なぎ・昆 麻斗
【女子】1回戦 高橋織江・山本雪乃

◎第69回JA共済児童生徒作品コンクール

【中学3年・条幅部門】佳作 佐々木 彩優

今年もよろしくお願いします！～「型」と「学び」を仕上げる3学期へ～

保護者の皆様、本年もよろしくお願いいたします。

3学期は、次の学年・ステージに向かうための仕上げとなります。42日間の登校日で、一人一人、そして集団として、実りある時間となるように取り組んで参ります。

子供たちが、実りある3学期にしてもらえるように、先週の始業式で伝えた内容の一部を紹介させていただきます。ぜひ、同じ「見方」をもって、子供たちの「仕上げ」を支えていただければ幸いです。

2学期末の総括集会では、3年生は当然ながら、1・2年生にも大きな成長を感じたので、終業式で伝えたこと。……「本物になってほしい」……「本物になる」って、思っているだけでは果たせません。目指す姿を意識して、行動を続け、自分の、自分たちの、「普通」「当たり前」という感覚を変えてしまう。それが「本物になる」ということです。そのヒントとして、ある方の言葉を伝えます。紅白にも出た「ちゃんみな」さんです。型破りで、自由に、思い通りに見える彼女が、意外と思う話を、ある番組でしていました。皆さんのが3学期にもつながる話と思い、紹介します。こんな話です。

『まずは型を身につけること。型にはまらないと自由は得られない。応用できない。私は、踊りのバレエやクラシックの勉強してきた。それが今の根っこになっている。身についた根っこがあるからこそ、初めて、応用して、独り立ちできる』

さらにこんなことも話しました。

『一番怖いのは無知。何も知らないこと、理解していないこと。知らないうちに、誰かに迷惑をかけている。そのことに気づいていない。まずは、興味があろうがあるまいが、好きだらうと嫌いだらうと、知らないと、理解しないと、何も始まらない。』

中学校は、彼女が語る「型」や「知識」を身につけるときです。そして、3学期は、今の学年で身につける知識や言動を形にするときです。将来、職場で何ができるかが大事なように、学校でどうできるかが大事なのです。あなたが、型と学びを身につけ、今の学年での、飛翔のトキを迎え、エメラルドの輝きを放つ、新緑の春を迎えましょう。